

## 地元説明会（資源拠点回収事業）について

## 1. 実施期間

11月20日（火）～12月13日（木）のうち9日間

## 2. 参加人数

180人

## 3. 説明会の概要

平成31年度から新しく始める3つの事業について、小学校区ごとに説明会を実施。

- ①ふれあい収集事業について（清掃係）
- ②資源拠点回収事業について（環境政策係）
- ③浄化槽整備事業について（汚水処理対策室）

## 4. 実施結果詳細

小学校区名	開催日	場所	参加人数
弓削田	平成30年11月20日（火）	弓削田小学校3階 図書室	42
猪位金	平成30年11月21日（水）	猪位金学園2階 図書室	16
大浦	平成30年11月22日（木）	大浦小学校2階 図書室	7
後藤寺	平成30年11月27日（火）	後藤寺小学校2階 図書室	14
金川	平成30年11月28日（水）	金川小学校3階 図書室	13
田川	平成30年11月29日（木）	田川小学校2階 ランチルーム	23
伊田	平成30年12月5日（水）	伊田小学校2階 図書室	20
鎮西	平成30年12月11日（火）	鎮西小学校2階 図書室	24
大藪	平成30年12月13日（木）	大藪小学校2階 図書室	21

住民説明会の様子（弓削田校区）



5. 住民からの質問・意見について（資源拠点回収事業のみ抜粋）

事業全体に関すること		
(1)	資源拠点回収事業はいつから開始するのか。	平成31年3月末竣工、4月より開始予定である。
(2)	車を所有していることが前提の事業と思われるが、どうなのか。	施設を建設するスペース等を考慮した結果、清掃事務所内を建設場所になった。車を所有していない者は、これまでどおりごみ袋で資源ごみを出すことができ、そのような出し方でもごみの減量化・資源化は可能であるため、協力をお願いする。
(3)	先進地である、直方市の事業効果はどの程度なのか。	数値では示しにくいですが、事業実施して、地元説明会を継続しており、約10年が経過して、拠点回収施設（立地場所は決してよくない。車が必要。）を利用する市民の約9割がリピーターであると聞いている。
(4)	新聞紙は現在販売店が集金時に回収してくれているが、今後はその回収した新聞が拠点回収施設に持ち込まれるのか。	持ち込まれない
(6)	それならば今後は拠点回収施設に持ち込んだ方がいいのか。	販売店による回収も減量化に繋がるので、販売店による回収でも構わない

(7)	拠点回収施設に持っていくと市としてのメリットになるのか。	ペットやプラは容リ協に引き渡しており品質が良ければ拠出金にも関係してくる。そのお金が通常のごみ収集の経費に使われる
(8)	資源拠点回収施設で、回収ボックスに資源ごみを入れるのは、そのごみを持ってきた者か。	基本はそうであるが、分別指導員を配置するため、不慣れな方等に対しては、可能な範囲で支援等を行う。
(9)	大任町に新ごみ処理施設が建設されたら、資源拠点回収事業や分別が変更になるのか。	市独自の取り組みであるため、変更はしない。
(10)	拠点回収施設に持ち込んだ資源ごみに、汚れた状態のペットボトルが混入していた場合、そのごみを持って帰るのは大変であるため、その場で洗えるようにするなどの対応をとってもらいたいが、どのように考えているか。	水道は設置する。また、分別に誤りがあった場合でも、分別指導員からは、次回は正しい分別で出してもらうようお願いする対応をとるなど、極力、拠点回収施設で受け入れるようにしたい。
(11)	高齢者にとっては、今の分別は難しいと思うが、どうしたら良いか。	可能な範囲で分別に協力してもらえたら良い。
<b>回収品目に関する出し方など</b>		
(1)	以下のようなびんは回収可能か。 ①割れているびん ②ラベルの付いたびん ③色付き（オロナミンC等）のびん	①～③すべてのびんが回収可能である。ただし、①については出来るだけ割れていない状態をお願いしたい。
(2)	びんの回収は一升瓶だけなのか。	一升瓶に限らず、色別で回収する。
(3)	かん、びんで回収できないものはどうしたらよいか。	不燃ごみとして、ごみ袋に入れごみ収集に出す。
(4)	ペットボトルは潰して出さないといけないのか。	潰さなくてもよい。
(5)	発泡スチロールはその他プラスチックに当るのか。	プラマークがあれば、その他プラスチックに当るが、汚れている場合は、可燃ごみとして出してもらいたい。
(6)	その他プラスチックは、どこに運搬されるのか。	市内の施設で選別を行い、さらに、別のリサイクル施設でリサイクルされる。
(7)	蛍光灯の関連で、LEDは回収するのか。	回収できない。
(8)	危険物はスプレー缶は回収するのか、カセットボンベだけなのか。	スプレー缶も回収する。

ごみの収集について	
(1)	<p>かん・びん、その他プラスチック等の指定袋は拠点回収事業開始後も使用できるのか。</p>
	出来る。

6. その他

今後は、地元からの要望に基づき、公民館ごとに説明会を開催予定。

7. 資源拠点回収施設の建設

平成30年12月中旬 資源拠点回収施設建設工事の発注

平成31年 3月中旬 資源拠点回収施設の竣工

平成31年 4月1日 資源拠点回収事業の開始（予定）

（資源拠点回収施設での資源ごみの受入を開始）

※資源拠点回収施設の開所式については、現在検討中



平成31年1月23日時点